

侵襲性肺炎球菌感染症

千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症は、2013年14～52週に53例、2014年に66例、2015年に113例、2016年1～39週に114例の届出があった。2016年はすでに2015年の届出数を超えた。これまでの届出数は11月から増加傾向となっていたため、2013年14週から2016年39週に届出された346例の発生状況をまとめた。

類型別では、患者341例(98.6%)、感染症死亡者の死体5例(1.4%)であった。

性別は、男性213例(61.6%)、女性133例(38.4%)であった(表)。

年齢群別では、70代84例(24.3%)、5歳未満62例(17.9%)、60代61例(17.6%)、80代50例(14.5%)が多かった(表)。

診断月別届出数を図に示す。

図 2013年14週～2016年39週千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症
診断月別・年齢群別届出数 346例

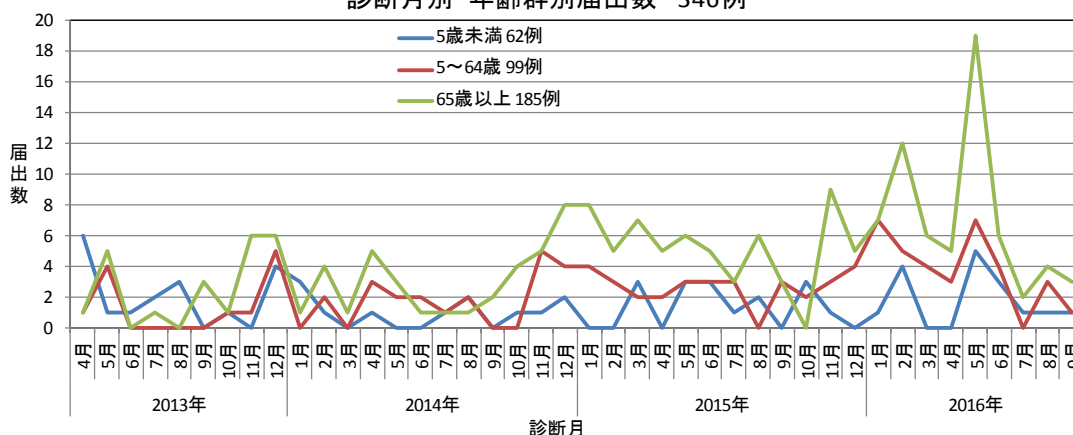


表 2013年14週～2016年39週千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症 年別・性別・年齢群別届出数

	性別	2013年14～52週		2014年		2015年		2016年1～39週		合計	
		届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%
性	男性	32	60.4	41	62.1	67	59.3	73	64.0	213	61.6
	女性	21	39.6	25	37.9	46	40.7	41	36.0	133	38.4
年齢群	5歳未満	18	34.0	11	16.7	17	15.0	16	14.0	62	17.9
	5～9歳	1	1.9	0	0.0	4	3.5	3	2.6	8	2.3
	10代	1	1.9	0	0.0	2	1.8	2	1.8	5	1.4
	20代	0	0.0	0	0.0	1	0.9	3	2.6	4	1.2
	30代	3	5.7	2	3.0	8	7.1	6	5.3	19	5.5
	40代	1	1.9	4	6.1	4	3.5	9	7.9	18	5.2
	50代	3	5.7	6	9.1	7	6.2	4	3.5	20	5.8
	60代	8	15.1	16	24.2	19	16.8	18	15.8	61	17.6
	70代	10	18.9	14	21.2	26	23.0	34	29.8	84	24.3
	80代	8	15.1	11	16.7	17	15.0	14	12.3	50	14.5
90代	0	0.0	2	3.0	8	7.1	5	4.4	15	4.3	
合計		53	100.0	66	100.0	113	100.0	114	100.0	346	100.0

症状等は、発熱298例(86.1%)、菌血症222例(64.2%)、肺炎149例(43.1%)、咳117例(33.8%)、意識障害87例(25.1%)、全身倦怠感70例(20.2%)、髄膜炎58例(16.8%)、頭痛43例(12.4%)、嘔吐31例(9.0%)、項部硬直29例(8.4%)、痙攣16例(4.6%)、中耳炎9例(2.6%)、大泉門膨隆2例(0.6%)の記載があった(複数報告あり)。

検査方法では、分離・同定による病原体の検出が342例(血液320例、髄液48例)、病原体抗原の検出が38例、検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出が12例(血液5例、髄液2例、記載なし6例)であった(複数報告あり)。